正　誤　表

「確率統計による測量の誤差論基本型」（お詫びして、追加・訂正します）　2018年3月3日修正版

ページ	訂正箇所	誤	正
前書き	上から１行目	「確率統計による測量学の誤差論」	「確率統計による測量の誤差論」
２６	下から６行目	$\frac{d(\log_e \mathrm{P})}{d\mathrm{X}}=\frac{f'(x_1-\mathrm{X})dx_1}{f(x_1-\mathrm{X})d\mathrm{X}_1}+\frac{f'(x_2-\mathrm{X})dx_2}{f(x_2-\mathrm{X})d\mathrm{X}_2}+\cdots+\frac{f'(x_n-\mathrm{X})dx_n}{f(x_n-\mathrm{X})d\mathrm{X}_n}=0$	$\frac{d(\log_e \mathrm{P})}{d\mathrm{X}}=\frac{f'(x_1-\mathrm{X})dx_1}{f(x_1-\mathrm{X})d\mathrm{X}}+\frac{f'(x_2-\mathrm{X})dx_2}{f(x_2-\mathrm{X})d\mathrm{X}}+\cdots+\frac{f'(x_n-\mathrm{X})dx_n}{f(x_n-\mathrm{X})d\mathrm{X}}=0$
	下から１行目 最後に追加		（但し、$x = x_1, x_2 \cdots, x_n$）
２７	上から１行目	ここで、前式 $x-\mathrm{X}$ を $\varepsilon(\varepsilon=x-\mathrm{X})$ に戻します。$x=\mathrm{X}+\varepsilon$ より $\frac{dx}{d\mathrm{X}}=1$ です。	ここで、前式 $x_i-\mathrm{X}$ を ε_i $(\varepsilon_i=x_i-\mathrm{X})$ に戻します。$x_i=\mathrm{X}+\varepsilon_i$ より $\frac{dx_i}{d\mathrm{X}}=1$ です。　（但し、$i=1,2,\cdots,n$）
１２５ １２６ １３７ １３９ １４０ １４１	上から１行目 上から2、3行目 上から１１行目 上から６行目 上から１３行目 下から１行目	行列式	行列
１７７	上から１行目	$\Delta i = x_i - x$	$\Delta i = x_i - \overline{x}$
２０４	⑩′ 式	$\sqrt{\frac{\sum_{i=1}^{n}\{(x_i-\overline{x}_i)^2+(y_i-\overline{y}_i)^2\}}{n-1}}$	$\frac{\sum_{i=1}^{n}\{(x_i-\overline{x}_i)^2+(y_i-\overline{y}_i)^2\}}{n-1}$
２６６	下から９行目	期待値は、実は平均値なのです。	期待値は、確率が同じ場合、実は平均値なのです。
９	上から１１行目	従って	（削除）
	上から１２行目	＝０　ですから	＝E［X－E［X］］E［Y－E［Y］］=0　※公式
	余白に追加		※ 確率変数X、Yが独立ならば、同時確率は確率の積 $p_{ij}=p_i\, p_j$ ですから $\mathrm{E}[\mathrm{XY}]=\sum_{i=1}^{n}\sum_{j=1}^{m}p_{ij}x_i y_j$ $=\sum_{i=1}^{n}p_i x_i \sum_{j=1}^{m}p_j y_j=\mathrm{E}[\mathrm{X}]\mathrm{E}[\mathrm{Y}]$ です。
7	上から2～6行目	y_i	y_j
１３９ １４０	該当行の全て	$\vert\quad\vert$ 行列式表示の箇所を	$\left(\quad\right)$ 行列表示にする
１２５	上から6行目と７行目の間		（左辺は数（P140参照）なので、右辺の各項も数です。）
１３３	下から４行目	この補正値を標定誤差と言います。	この方向角補正値を標定誤差と言います。
１３４	下から６行目	⑥式⑪式を	⑥式⑮式を
１９	下から６行目	分散 $\sigma^2=\sum_{i=0}^{n}(x_i-\overline{x})^2 p_i$	分散 $\sigma^2=\sum_{i=0}^{n}(x_i-\mu)^2 p_i$
１８０ １９２ ２００ ２０２	上から３行目 上から７行目 下から７行目 下から８行目	・・・代入すると	・・・代入すると （P１６９ ⑤’式参照）

最新の正誤表は次のページからご確認いただけます。http：／／datesoku．com／product．html